

リーフレット

デザイン | 溝田尚子 印刷 | サンメッセ株式会社

編集・発行 | 地域の独創的な芸術活動体験事業実行委員会 (三重県立美術館内)
〒514-0007 三重県津市大谷町11番地 TEL. 059-227-2100 FAX. 059-223-0570

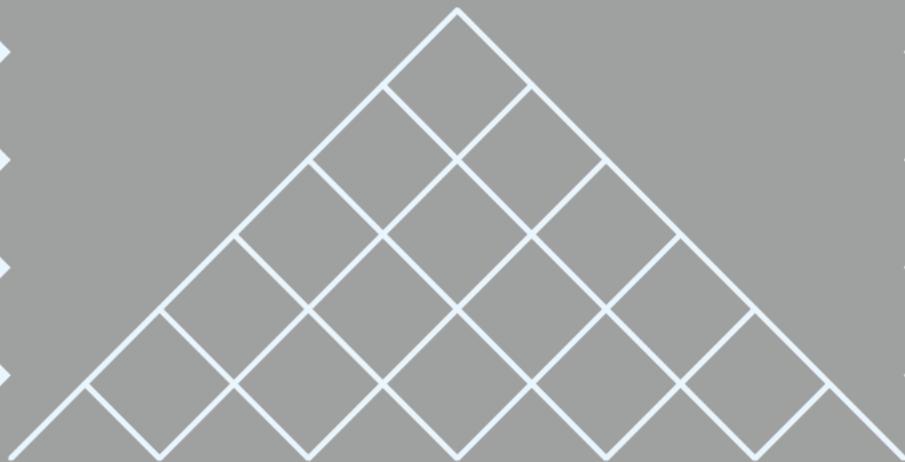
発行日 | 2019年1月30日 ©地域の独創的な芸術活動体験事業実行委員会 禁・無断転載



平成30年度文化庁
地域と共働した
美術館・歴史博物館
創造活動支援事業

Para-Landscape

Imagination to Face the Changing Reality



ワークショップ成果展示

近年、インターネットの普及やテクノロジーの進化によって、私たちを取り巻く風景は急激に多様化し、世界の認識をも変えつつあります。「パラランドスケープ」展は、そのような変化する現実を前に、生の身体を通して風景と向き合う経験を改めて考え直す機会として企画されました。

その関連イベントとして開催されたワークショップでは、展覧会出品アーティストのうち2名を講師として迎え、参加者ととも身近な「風景」を捉え直すきっかけとなるような活動や制作に取り組みました。

稲垣美侑^{いながき みゆき}は、家屋や空き地のたたずまい、町並みの小さな変化などに眼差しをむけ、個人や存在のリアリティについて、絵画制作を通して思考を続けているアーティストです。今回、小学校2年生の児童たちとともに、校内の気になるものをフロッタージュの技法で収集し、見ることと触ることの両方を通して、身近な環境を捉え直すワークショップを行いました。色とりどりのフロッタージュは、一つの大きな作品に構成し直されることで、生き

生きとした表情をみせ、その手触りが織りなす新しい風景を見せてくれています。

藤原康博^{ふじわら やすひろ}は、険しい山々や河川といった自然の生み出す彼岸と此岸、あるいは、城、納屋などの構造物の内と外といった、「境界」の存在と、人間の想像力との関係を平面、立体の制作を通して探ってきました。今回は、そのなかから山と人間との豊かな関係性に着目し、参加者は、まず、「気になる山」をじっくりと描くことに挑戦しました。ワークショップの最後には、それぞれの山の稜線をつなぎ、他者の記憶の山同士が出会います。展示では、山というありふれたモチーフに投影された心象風景の多様さが際立っているのではないのでしょうか。2名の作家が編み出したプログラムはそれぞれ異なりますが、いずれも参加者一人一人の作品が、集まって大きな何かを形作る内容です。同じ学校に通う児童・生徒たちの作品が、あるいはワークショップではじめて出会った人々の作品が一つになった時に、どのような「風景」が見えてくるのか、お楽しみいただければ幸いです。

● 実施ワークショップ *人数は少し変更する可能性があります。

稲垣美侑によるワークショップ

日時 | 2019年1月18日(金) 8:50-12:20
会場 | 津市立北立誠小学校(津市江戸橋1-30)
対象 | 2年生(3クラス) 79名

藤原康博によるワークショップ「記憶の山をつむぐ」

日時 | 2018年12月7日(金) 12:45-14:15
会場 | 三重県立飯野高等学校(鈴鹿市三日市町東新田場1695)
対象 | 2年生(応用デザイン科美術コース) 30名

日時 | 2019年1月26日(土) 14:00-16:00
会場 | 三重県立美術館
対象 | 小学生以上の一般参加者 20名

● ワorkshop 成果展示

会期 | 2019年1月30日(水) - 3月10日(日) 9:30-17:00
休館 | 月曜、ただし2月11日(月・祝)は開館し、2月12日(火)休館
会場 | 三重県立美術館 1F 廊下等のフリーゾーン
主催 | 地域の独創的な芸術活動体験事業実行委員会、三重県立美術館、津市立北立誠小学校、三重県立飯野高等学校
ワークショップ撮影 | 尾崎芳弘(DARUMA)